



遠野
遺産

遠野遺産認定第38号 自然遺産 2007年7月20日認定

所有者 国

推薦者 土淵町地域づくり連絡協議会



第11回

貞任水芭蕉群生地

貞任水芭蕉群生地は、貞任高原の湿地帯およそ一・二畝にミズバショウが広がり、県内有数の規模を誇ります。タバコの葉に似た大きな葉が茂ることから、古くは「たばこぼた」と呼ばれ、地元ではよく知られていました。その後、貞任牧場の開拓によってミズバショウの群生地として広く知れ渡るようになりました。例年、四月中旬から下旬に見ごろを迎え、春の風物詩として毎年多くの観光客が訪れています。地域の誇りであるミズバショウを多くの人に楽しんでもらおうと、毎年開花前には群生地周辺の環境整備を地域住民総出で行なっています。

MEMO

住 土淵町国有林内

交 遠野駅より車で25分

問 土淵地区センター(☎@2837)



胸を打つドキッとする言葉に出合ったとき、うまく記事にできるだろうかと不安になります◆記事がまとまらず悩んでいると先輩からのお誘い。「夕飯はいらない」と電話に出た娘に告げると「ケーキ残しとくね」とのこと。なぜ? と思っただもののストレス発散とばかりに午前様◆翌朝、家族の一言にドキッ。娘の誕生日を忘れるとは…。(小森)

思いがけず、行きつけの床屋で小学時代の卒業文集に出合いました。折りしも同級会を企画していた真つただ中◆地域の歴史をお年寄りから聞き取りまとめた文集は、二十年たった今も輝いていました◆遠野物語発刊百周年に向けた事業がスタート。文集を見返しながら、あの時のようにもつと郷土を知らなければと改めて思いました。(馬場)